

2. 水質事故等の状況

(1) 水質事故の現状

水質事故の発生件数としては増加傾向であるが、上水道の取水停止を伴う大規模事故の発生件数は横這いである。

水質事故の発生件数は年々増加して平成17年には1,200件を超えた。近年、住民等から寄せられる事故情報が増加していること等の結果と考えられる。一方、上水道の取水停止を伴う重大な事故の発生件数は29件で、長期的にみると横這いである（図 - 5 参照）。

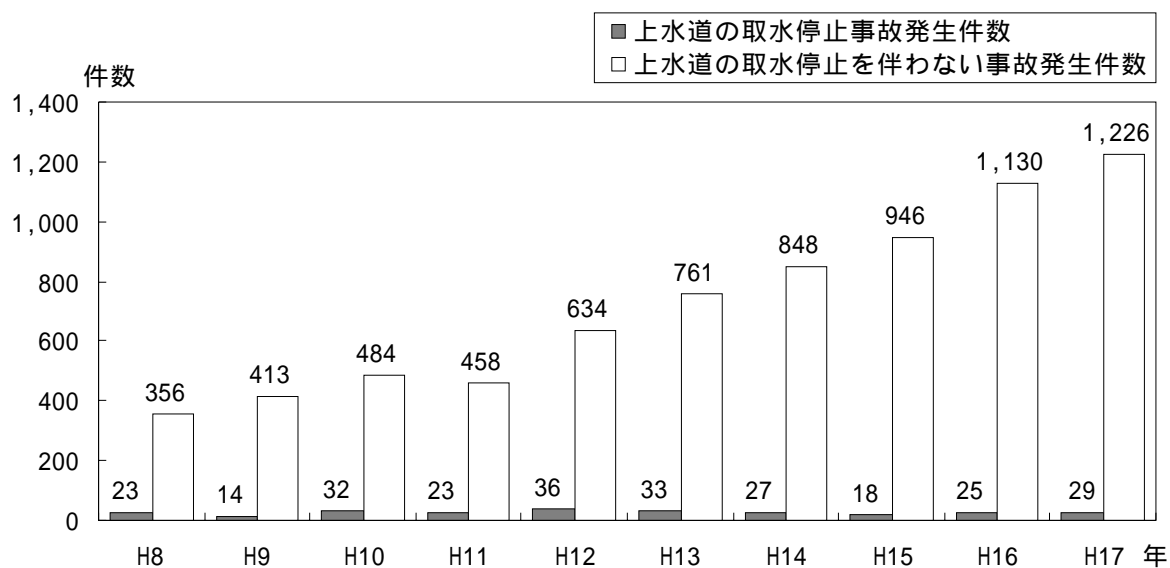


図 - 5 水質事故発生件数と上水道の取水停止事故発生件数の推移

(2) コイヘルペスの状況

一級河川においてコイヘルペスの発生が確認された地点数は、平成16年より減少している。平成16年と同様、水質の状況に関わらず発生している。

平成15年に初めて発生が確認されたコイヘルペスについて、平成17年に発生が確認された地点数は63地点であった(図-6参照)。発生地点数は減少しているが、平成17年には四国の河川で初めて発生が確認され、平成15年以降全ての地方の河川でコイヘルペスの発生が確認された。コイヘルペスが発生した河川の代表地点の水質をみると、水質の清濁の状況に関わらず発生している(図-7参照)。

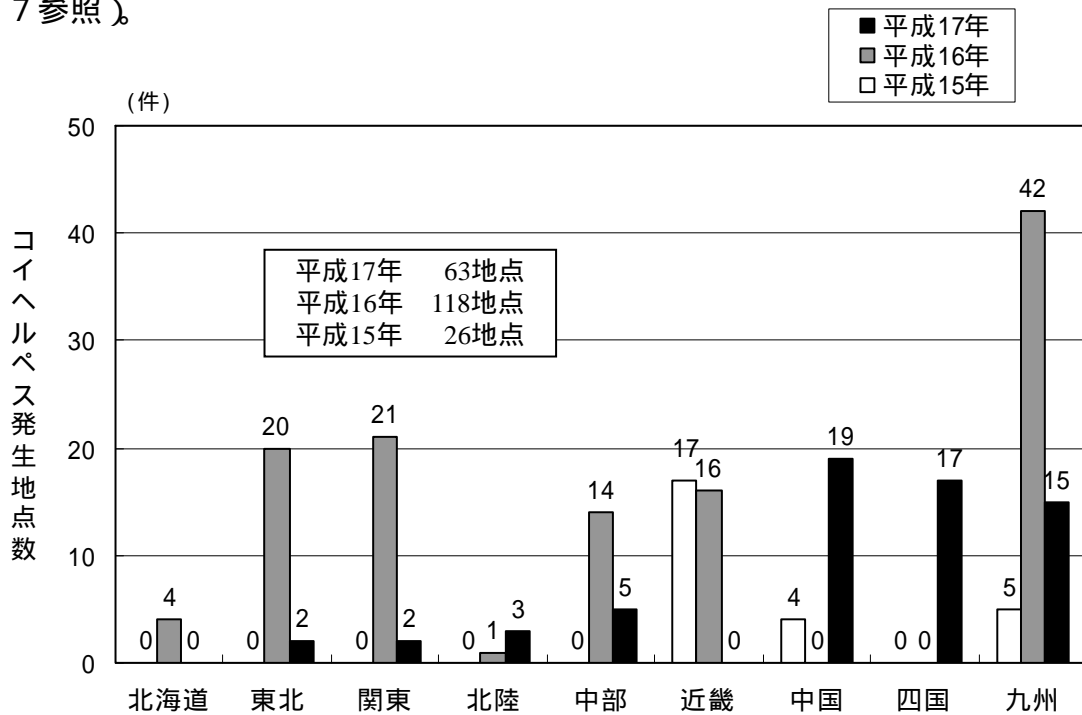


図-6 地方別コイヘルペス発生地点数

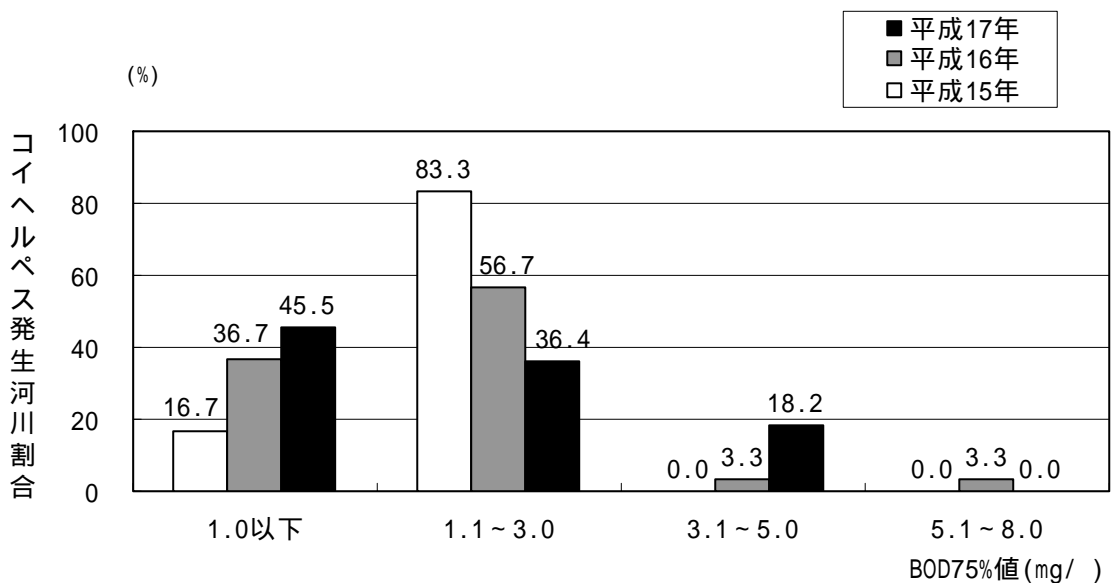


図-7 水質ランク別コイヘルペス発生河川(一級河川)割合